

名旋律満載の「カルメン」

小山 晃 (音楽評論家)

(財)平塚市文化財団設立10周年記念に、平塚市民オペラの手で、ビゼー「カルメン」が上演される。19世紀フランス・オペラの最高の人気作であり、作曲家ビゼーの一番の傑作である。

ジプシーの女カルメンが「恋は野の鳥・・・」と歌う「ハバネラ」は、オペラ「カルメン」の全曲をこれまで観たことがない人でもよく知っている名ナンバーだが、カルメンにはもう1曲くセビリアのとりでの近くに「・・・」と歌う「セグディリア」があり、これも名ナンバーの1曲である。その他、第2幕の幕開きで歌われる酒場のシーンでのアンサンブル「ジプシーの歌」や男性的で勇壮な「闘牛士の歌」、カルメンに誘惑され、彼女を忘れられなくなったドン・ホセがしみじみと、心をこめて歌う「花の歌」など名旋律が満載である。ホセの婚約者ミカエラが歌う「なにも恐れることはない」も美しく決然としたアリアであり、竜騎兵の行進の音楽や子供達の合唱も大変楽しい。野性的で自分の思うままに生きたカルメンは、最後にホセに刺されてしまうが、これもよく知られた開幕の前奏曲からカルメン殺しのフィナーレまで、ビゼーが心血を注いだ音楽とドラマが素晴らしい。それに、日本語上演であるのも、親しみを増すとおもう。



総監督
岩崎由紀子



指揮
城谷正博



演出
高岸未朝



手嶋眞佐子
(カルメン)



湯川 晃
(ドン・ホセ)



鹿又 透
(エスカミーリョ)



青木エマ
(ミカエラ)



大沼 徹
(ズニガ)



桑田葉子
(フラスキータ)



下園 理恵
(メルセデス)



竹村 淳
(ダンカイロ)



梶井龍太郎
(レメンダード)



押川浩士
(モラレス)



青木雅也
(合唱指揮)



白井英治
(コンサートマスター)

合唱: 平塚市民オペラ合唱団・平塚音楽家協会・平塚ジュニアコール・東海大学教養学部芸術学科音楽学課程
管弦楽: 平塚市民オペラオーケストラ / バレエ: 松下浩子バレエスタジオ

演出助手: 喜田健司・落合真奈美 / 舞台助手: 小林清隆・柏木小百合 / 合唱指揮: 梶井龍太郎・岩井周子・神林多恵子

練習ピアノ: 木下志寿子・金子雅代・佐藤やえこ・西野えり香・田村由希子

制作助手: 宮川千代子・大屋啓子・諏訪部崇世 / 運営: 平塚市民オペラ実行委員会(委員長 嶋津智恵子)